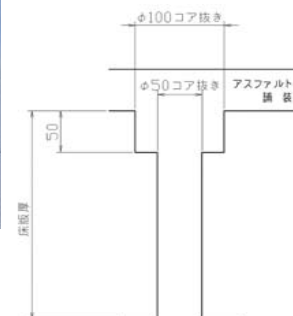


1. 床版のコア削孔

- 1) 設置位置確認後、床版上部50mmを100φで削孔し、50φで床版全体をさらに削孔します。
- 2) 床版のコア削孔が終わりましたら、コア周りの切粉をよく清掃し、乾燥させます。



2. 部材の仮組とマーキング及び水漏れ防止

- 1) 床版厚に合わせ、部材No.②～No.④を仮組して下さい。  
 ※本製品(標-3)は、橋梁の床版厚240～350mmまで長さを自在に調整出来ます。  
 <タイプによって調整長さが変わります>

\* 注意点 \*

- ・部材No.③は上下共に最低ねじ込み長さを20mm以上として下さい。
- ・部材No.②の上部20mmと部材No.④の下部10mmを考慮して仮組します。
- ・本製品は、床版上面の排水が目的ですので、**必ずコンクリート床版の天端より低く設置して下さい。**  
 高く設置すると将来の舗装修繕時（切削時）に障害となります。

- 2) 仮組が終わりましたら、No.③のねじ込み位置をマジック等でマーキングします。

床版厚300mmの例：



最低ねじ込み長さ  
位置マーキング



床版厚300mm - 上部30mm +  
下部10mm = 280mm  
280mmで②③④を仮組



ねじ込み位置  
マーキング

3) 部材No.②と部材No.④を一度取り外します。

4) マーキングした部材No.③のおねじ部分にシールテープ（市販品）を7回～10回程度巻き付け、ねじ部からの水漏れ防止を行って下さい。

②、④の取り外し



シールテープ  
巻き付け



### 3. 吊下げ金具とゴムパッキンのセット

1) 部材No.③に設置方向の上部側に吊下げ金具を通します。

2) 部材No.②と部材No.④をマーキング位置までねじ込みます。

3) 下端部になる部材No.④に、床版内で収まる位置にゴムパッキンをセットします。

吊下げ金具通し



②④を③マーキング位置まで  
ねじ込み



④にゴムパッキンセット



4. 部材No.⑤のねじ込み

1) 部材No.⑤にシールテープ（市販品）を7回～10回程度巻き付けます。

2) 部材No.④に部材No.⑤をねじ込みます。

\* 注意点 \*

- ・ 部材No.⑤はABS樹脂製の為、過剰に締め付けると破損する恐れがあります。（破損例が増加しています。）
- ・ 床版下面で導水が必要な場合は、フレキシブルチューブ（別売品）をご用命下さい。

シールテープ  
巻き付け



④に⑤ねじ込み



5. 接着用樹脂の注入

1) 部材No.②の上部に、接着用樹脂の進入を防ぐ為に、ガムテープ等による養生します。

2) 床版厚に合わせた位置で、吊り下げ金具を折り曲げ、不要な部分はカットします。

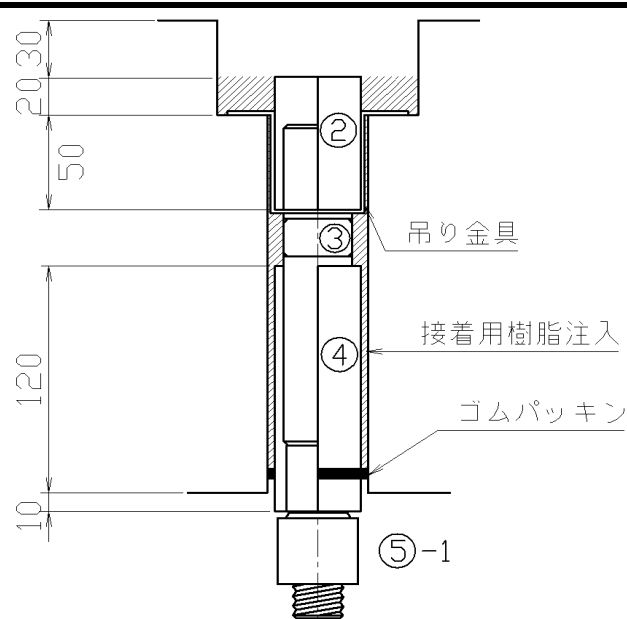
②上部養生



→



3) 組みあがった部材No.②～No.⑤までの本体をコアに挿入し、吊り下げ金具で支えます。



4) 接着用樹脂を慎重に部材No.②の天端まで注入し、約24時間の養生を行います。

本体コア挿入



樹脂注入



6. 部材No.①の取付け

- 1) 接着用樹脂の養生後、部材No.②のガムテープを剥がします。
- 2) 部材No.①に付属のスプリングフィルターを巻き付け、部材No.②にねじ込みます。

①にスプリング  
フィルター巻き  
付け



②にねじ込み



スラブドレインは、As舗装からしみ込んで橋梁床版上面に滞留する水を排水することを目的とした製品ですから、土砂・シルト等の混入水を排水させることはお止め下さい。目詰まりします！！

1. 部材の仮組と水漏れ防止

1) 床版厚に合わせ、部材No.②～No.④を仮組して下さい。

※本製品(標-3)は、橋梁の床版厚240～350mmまで長さを自在に調整出来ます。

<タイプによって調整長さが変わります>

\*注意点\*

- ・部材No.③は上下共に最低ねじ込み長さを20mm以上として下さい。  
但し、曲管横引き使用時の部材No.③は、最低ねじ込み長さを下記のようにして下さい。
  - ・60全ねじ、90、105、140、170 → 20mm以上
  - ・300、600 → 30mm以上
- ・本製品は、床版上面の排水が目的ですので、**必ずコンクリート床版の天端より低く設置して下さい。**  
高く設置すると将来の舗装修繕時（切削時）に障害となります。

2) 仮組が終わりましたら、No.③のねじ込み位置をマジック等でマーキングします。

3) 部材No.②と部材No.④を一度取り外します。

4) マーキングした部材No.③のおねじ部分にシールテープ（市販品）を7回～10回程度巻き付け、ねじ部からの水漏れ防止を行って下さい。

床版厚300mmの例：

最低ねじ込み長さ  
位置マーキング



ねじ込み位置  
マーキング



②、④の取り外し



シールテープ  
巻き付け



## 2. 設置位置の固定とコンクリート打設

1) 付属の固定金具を部材No.②及び、部材No.④に取り付けます。

\* 注意点 \*

- ・ 固定金具のリング部分を少し開きながら部材No.②及び、部材No.④にしっかりとはめて下さい。

2) 部材No.②と部材No.④をマーキング位置までねじ込みます。

3) 設置位置の配筋に固定金具を結束線もしくは、仮付け溶接にて設置します。

4) 部材No.②の上部に、SDキャップ（別売品）を装着します。

\* 注意点 \*

- ・ SDキャップの打設コンクリート接地面に離型剤を塗布することで、硬化後に部材No.①（スプリングフィルター付）をねじ込む際に取り外しやすくなります。

5) 部材No.④の下部に、打設コンクリートの進入を防ぐ為に、ガムテープ等で養生します。

6) コンクリートを打設し、養生します。

\* 注意点 \*

- ・ アスファルト舗装まで期間が空く場合は、SDキャップを設置し、部材No.①と付属のスプリングフィルターを保管することをお勧めします。（ごみ等の流入による目詰まり防止）

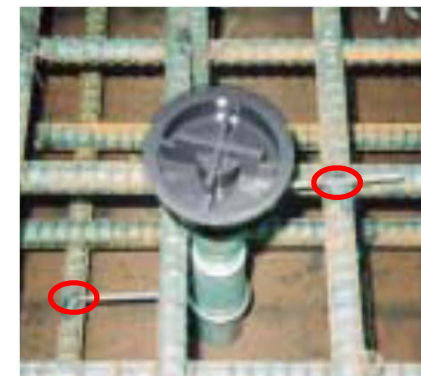
固定金具取付



②④を  
③マーキング  
位置までねじ込み



固定金具設置  
SDキャップ装着



コンクリート打設  
養生



### 3. 部材No.⑤と部材No.①のねじ込み

1) 型枠解体後、部材No.⑤にシールテープ（市販品）を7回～10回程度巻き付けます。

シールテープ  
巻き付け



2) 床版下面から部材No.④に部材No.⑤をねじ込みます。

\* 注意点 \*

- ・ **部材No.⑤はABS樹脂製の為、過剰に締め付けると破損する恐れがあります。（破損例が増加しています。）**
- ・ 床版下面で導水が必要な場合は、フレキシブルチューブ（別売品）をご用命下さい。

⑤ねじ込み



3) 床版上面のSDキャップを取り外します。

SDキャップ  
取り外し



4) 部材No.①に付属のスプリングフィルターを巻き付けます。

①にスプリング  
フィルター巻き  
付け



5) 部材No.②にねじ込みます。

\* 注意点 \*

- ・床版上面の清掃（水洗い）を行う場合は、清掃排水にスラブドレーンを利用することはお止め下さい。  
目詰まりの原因となります。

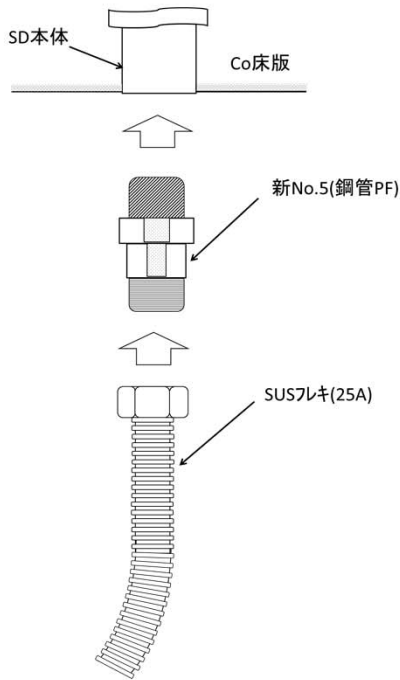
**スラブドレーンは、As舗装からしみ込んで橋梁床版上面に滞留する水を排水することを目的とした製品ですから、土砂・シルト等の混入水を排水させることはお止め下さい。  
目詰まりします！！**

②にねじ込み

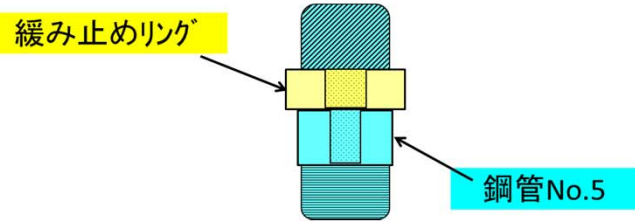




# 新No.5(鋼管PF)

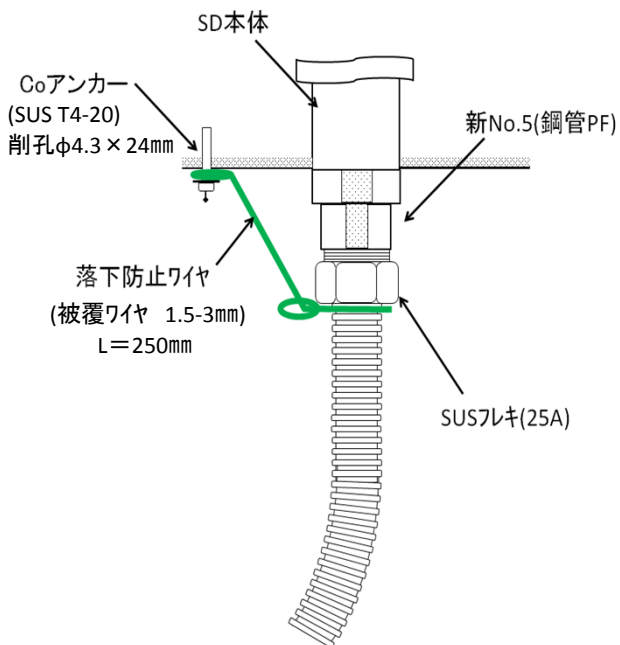


## 新No.5の部材構成



※SD本体側に緩み止めリングを装着しました。

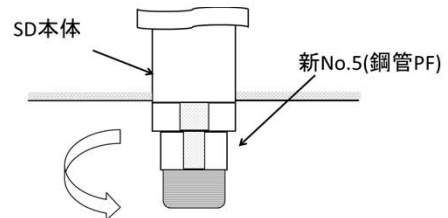
## 落下防止対策



SUS7レキ袋ナットのくびれに、落下防止ワイヤーを取付、Co床版下面にアンカーで固定する。

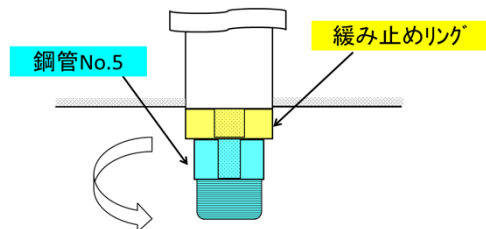
## 取付方法

①



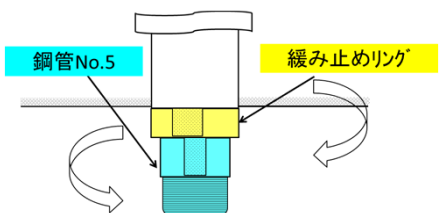
SD本体(No.4)に新No.5(鋼管PF)をねじ込みます。

②



新No.5(鋼管PF)の下端部側の鋼管No.5(ブルー部)をスパナで締めこむ。

③



新No.5(鋼管PF)の下端部側の鋼管No.5(ブルー部)のスパナを保持した状態で、もう一本のスパナで緩み止めリング(イエロー部)を逆方向に回す。